

KIWAKOTO

2021/06/14

Kiwakoto のライフスタイル商品 販売開始のご案内



漆芸や陶芸、織物や染物などをはじめとする伝統工芸の職人技と聞いて、
私たちの多くが思い浮かべるその現在地は、はたしてどんなものでしょうか。

平安遷都以来、貴族や皇族、文化人などからのお誂えに応えるため代々磨かれ受け継がれてきた日本が世界に誇る最
高峰の技術は、どこかで接点がない限り、もしかしたら遠い存在のままかもしれません。

そんななか、日本でもっとも職人を有する京都で伝えるべきクラフツマンシップを探り当て、改めて彼らの懐に飛び
込み、あらゆる伝統工芸を軸にオリジナルのプロダクトの企画開発・製造・販売を行ってきたブランド
「Kiwakoto (キワコト)」が新たに提案させていただくのは、伝統工芸のニュー・スタンダード。

それは誰もが手に取ることができて、どんな日常にもいつまでも凛と寄り添う、
“生活用品としての工芸”への挑みです。

デザインコンセプト



シンプルに図形化された古来の文様

うつわには、その縁に、朝顔、牡丹、蓮、芥子、菊、椿、梅、百合…といった花々の輪郭を。これは現代人が改めて求めてやまない自然、その賛美の象徴として極めてシンプルに図形化された古来の文様からヒントを得ました。このデザインを受け取り、清水焼の作家がかたちにした白磁器には、国や性をはじめあらゆるジェンダーの垣根を越えて愛でていただくべくモダンなたたずまいをもって、永遠のスタンダードに分け入るひとつの答えとしました。

無機質さと手仕事のぬくもり

シンプルに図形化するデザインアプローチの中で、「どんなオケージョンにも合うこと」を重視し、極めて無機質に人為的な要素を排除。正円の曲線だけで縁を描いたデザインを完成しました。これを引き継いだ東山区の五条坂で三代続く清水焼の窯元の手によって、当然ながら、僅かに歪んで立体となるうつわ。ここに、手仕事のぬくもり、愛着を感じます。

ロゴタイプについて

「○」「△」「□」という図形の実を描きこの世の存在すべてを3つの図形に代表させ、「大宇宙」を小画面に凝縮されたともいわれる仙厓義梵（せんがい ぎぼん）が描いた禅画。混沌とする現代において、多様性を包括するシンプルな形態。Kiwakoto のライフスタイルラインを象徴するロゴタイプは、○△□の中に構成しました。



花々8種の輪郭をあしらった皿 焼き締め磁器皿 清水焼の工房にて製作
Φ260mm 5,500円 Φ205mm 3,850円 Φ150mm 2,420円 Φ95mm 1,210円



菊の輪郭を切り出したグラス 型吹き硝子の製法 Φ80mm 高さ90mm 4,950円



禅画から着想したタンブラー 楽焼（陶器）の製法 Φ75mm 高さ80mm 5,500円



京銘竹の箸 天（頭）6mm 箸先1mm 2,200 円



手漉き和紙のコースター・プレースマツト Φ120 mm・Φ400 mm 撥水 605 円・3,850 円

表記価格は税込

2021年6月22日より、Kiwakoto 本店・公式オンラインストアにて販売開始
サンプル貸し出しをいたします。お問い合わせください。

公式オンラインストア: <https://kiwakotolifestyle.com/>

Instagram: <https://www.instagram.com/kiwakoto.lifestyle/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Kiwakoto.lifestyle/>

Kiwakoto について

Kiwakoto は、クラフツマンシップを軸にしたプロダクトを企画開発・製造・販売します。きわこと（際殊）は、古語で「格別であるさま」の意味。職人による手仕事、個性と個性のコラボレーション、用の美を追求したデザイン。ほかにはないこだわりをかたちにして届けるという想いを表現しました。2018年1月創業。2021年6月ライフスタイルライン KIWAKOTO をローンチ。

公式ブランドサイト: <https://kiwakoto.com/>

【メディアお問い合わせ先】株式会社 A・STORY 担当 佐藤 愛 TEL 075 (212) 0500 E-mail info@a-story.co.jp